

学校だより

天狗山のふもと 地域と共に育つ 学びあふれる学校



# やまのて

学び合い ひびき合い きたえ合い

令和6年4月9日

第1号

小樽市立山の手小学校

小樽市花園5丁目2番20号

TEL 32-2200

みんなで創る 山の手小学校 を目指して

校長 伏 間 公 洋

穏やかな気候に恵まれた4月8日、朝、校門前で交通安全指導をしていると、山の手の子の笑顔と自分から進んで行くいつも通りの元気な挨拶で新学期が始まることに喜びを感じました。みんなやる気いっぱい、いつもより少し早い時間に登校し、学級発表を待ち遠しく感じているようでした。入学式では、1年生が、かわいらしく、そして、立派な姿勢で式に臨んでくれました。

開校7年目の山の手小学校がスタートしました。

今年度も、多くの教職員を新たに迎え、開校以来の6年間で創り上げてきた『山の手スタイル』を継続・発展できるよう職員一同で努めて参ります。山の手の子には、昨年度同様に『自分の可能性を感じ、自己成長を目指す子』でいてほしいと願っています。

今年度も全職員が協働体制のもと、成果と課題をしっかり捉え、教育活動の充実と子どもたちの健やかな成長を願い、保護者や地域の方々と力を合わせて「天狗山のふもと 地域と共に育つ 学びあふれる学校」の実現を目指してまいります。変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

1学期の始業式で2年生以上の山の手の子には、頑張っって欲しいことを1つ伝えました。それは、今年度も「自己成長」についてです。

【始業式での話】

みなさん一人一人がさらに輝くために、そして、山の手小学校がもっと素敵な学校になるために大切にしてもらいたいことを1つお話しします。それは「自分を成長させる」ということです。

山の手の子一人一人には、いろいろな可能性があります。校長先生には大好きなことがあります。それは、みなさんが聞かせてくれる音読と歌声です。音読と歌声が素敵なのは、「もっと上手に読めます」「もっと心を込めて歌えます」という可能性を感じて、よりよい音読や歌声になるように努力し続けてきたからだからです。これからも、1年間を通して音読と歌声に取り組んでいきましょう。その素敵な音読と歌声を学習発表会で多くの方に聞いてもらいましょう。

4月からも、自分の可能性を感じて努力をし、自分をもっともっと成長させてください。そして、自分を成長させたみんなが集まって、この山の手小学校をさらに素敵な学校にしましょう。

山の手小学校の先生は、みなさん一人一人のことを一番大事にします。褒めてくれたり、「もっと成長してほしい」という気持ちを込めて教えてくれたり、時には、叱ったりしてくれます。

先生の言葉には、「自分の可能性を感じて努力をして、自分を成長させてもらいたい」という願いが込められています。先生の言葉を心で受け止めて、自分を成長させるための努力を重ねてください。

## ■ 今年度の学習発表会について【変更】 ■

山の手小学校では、『音読』と『歌声活動』を特色有る教育活動と位置付け、年間を通じて取り組んでいます。音読は国語の力の基礎づくりとして、歌声活動は感性や表現力を育むとともに一体感を醸成することを主な目的として、開校以来、大切にできています。

今年度の学習発表会は、本校の特色有る教育活動である音読と歌声、合奏（3・6年生）を発表いたします。山の手の子には、「読むことが楽しい」「文章の内容が前よりもわかるようになった」「勉強が好きになった・得意になった」「みんなで歌うと楽しい」と感じてもらえる嬉しです。

そして、「山の手小学校は、音読と歌声が素敵な学校です」「勉強を頑張る学校です」と、山の手小学校で学んでいることや学んでいたことが心の支えとなり、山の手の子が大きく成長することを願っています。劇の発表とは雰囲気が変わりますが、何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。